

「子どもが元気」は「地域が元気」

岩手県普代村教育委員会

はじめに

普代村は岩手県沿岸北部に位置し、太平洋に面しています。人口は約3000人、面積は70平方キロ。県内で一番小さな村です。

村内には普代小学校(児童数137人、5月1日現在)と普代中学校(生徒数81人、同)の2校と、認定こども園はまゆり子ども園(園児数71人、同)があります。小学校は昨年4月、3校が統合しました。また、学校と地域が一体となって活力を生み出していく「普代型スクール・コミュニティ」の実現を目指し、幼小中一貫教育にも力を入れています。

職場体験学習の支援

学校支援地域本部事業は、平成19年12月から取り組んでいます。2人の地域コーディネーターが、それぞれ小学校、中学校を担当。学習支援、環境整備、登下校安全指導など、学校支援ボランティアとの調整を図りながら、支援活動を行っています。

中でも、中学校の職場体験学習の支援には力を入れています。同プログラムを通して、子どもたちにふるさと志向や自信、誇りを身につけてもらおうきっかけづくりにつなげています。

普中版はるーわーく

これまでの職場体験活動は、受け入れ事業所との連絡調整などで、学校の先生方にとって大きな負担になっていました。同事業導入後は、「GOOD JOB」職場体験く」と銘打って、受け入れ可能な事業所、商店のリストアップに取り組ましました。職場体験をプログラム化するために、欠かせない作業です。地元に住み慣れた経験とネットワークを活かし、これまでお世話になっている事業所はもちろん、新規事業所の開拓にも力を入れました。

その結果、村内60事業所(岩手県統計調査課「工業、商業統計調査報告書」)中、33事業所から受入れ可能な回答をいただきました。直接出向き、体験内容、受け入れ人数、受入れ可能時間等をまとめ、

事業所別パンフレットを作成。「普中版はるーわーく」を校内に開設し、全校生徒に情報提供を行いました。

生徒が読みたいと思うような魅力的なパンフレットづくりに加えて、先生方との打ち合わせ、受け入れ事業所との連絡調整に時間を割きました。地域コーディネーターの勤務時間は限られていることから、先生方とのコミュニケーションが大事な鍵になることも分かりました。こまめにメモを残すこと、受け入れ先から



パン屋さんでのパン作り体験



精肉店での肉加工体験

得た情報は、すばやく伝えることなどを心掛けて取り組みました。昨年 は 日程調整などを経て、15事業所の協力をいただき、職場体験ができました。鮮魚店では魚をさばき、パン屋さんではパン作り、三陸鉄道では窓口業務、小学校では先生をサポート。美容室ではウィッグを使って髪を切ったり、学校給食センターでは調理補助と、多分野での「GOOD JOB」職場体験くが実現しました。

H21 GOODJOB職場体験レポート⑭

○受け入れ先・上神田精肉店様

- ☆体験日 ・11月6日(金)
- ☆体験者数 ・3名(男子2名/女子1名)
- ☆体験時間 ・9:00~15:00
- ☆持ち物 ・エプロン、三角巾 ※爪を短く
- ☆服装 ・運動着
- ☆体験内容 ・惣菜作りなど



★生徒感想

- ・お惣菜作りではから揚げを美味しく揚げるコツを教えてもらい大変勉強になりました。
- ・敬二さんは、はじめ店を継ぎたくなかったけど普代にひとつしかない肉屋がなくなると地域の人が困るから後を継いだということがわかりました。
- ・油を使う作業ではちょっと怖かったけど上手に出来てよかったです。
- ・親が、働いて家に帰った後も家の仕事をしていることがわかりました。

★受け入れ先感想

- ・はじめてのことばかりで大変だったと思います。
- ・とても素直に働いてくれました。お疲れさまでした。

★コーディネーターから

- ・上神田さんは職場体験のお願いにうかがった際に、普代の子どものためだから、といて快く引き受けてくださいました。その一言が本当にうれしかったです。
- ・美味しいお惣菜の作り方を教わったほかに、親の大変さ、また、ありがたみがわかった生徒がいたようです。いいところに気が付いたんだなあと思います。この職場体験で学んだことの奥の深さに感動しました。



このたびの東日本大震災では、普代村も漁業施設を中心に甚大な被害を受けました。全国の皆様からいただきました温かいご支援、ご援助に深く感謝し、紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

(普代村学校支援地域本部
地域コーディネーター
佐藤美香)

受け入れ先への事後アンケートからは、「教えた自分たちも楽しかった」「生徒には何かひとつでも覚えようという姿勢が見え、うれしくなった」など、良好な評価をいただきました。職場体験に取り組み明るく元気な生徒と過ごすことによって、地域の皆さんもうれしく、元気になる、そんな当たり前のことが分かり、目の前の霧が晴れたような気持ちになりました。次年度へつなげ、より充実した職場体験ができるように先生方との調整を図り、コーディネーターとしていきたいと考えています。

地域ちからを学校に
職場体験プログラムの取組は、子どもたちにも、地域にも着実に浸透してきています。地元商工会の協力をいただきながら、円滑な事業実施が図られました。事後取材やアンケート、生徒の感想を取りまとめ、今後も充実した内容にしていきたいと思います。学校支援ボランティアの活動分野の裾野を広げ、学校のニーズを的確に把握するとともに、地域が持つさまざまなちから(教育力)を学校教育活動に活かしていきたいと願いながら、今日も元気に頑張っています。